

## アジェンダ 21 すいた

### 総会

#### アジェンダ 21 すいた定時総会を開催しました。(議事概要)

平成 27 年度アジェンダ 21 すいた定時総会 議事概要

- 1 日時：平成 27 年 7 月 11 日（土）午後 1 時 30 分～午後 3 時
- 2 場所：大和大学 C101 講義室
- 3 正会員の現在数 79 人
- 4 出席者数 54 名（内訳 本人出席者 25 名 書面表決者 25 名 表決委任者 4 名）
- 5 審議事項

第 1 号議案 平成 26 年度事業活動報告承認の件

第 2 号議案 平成 26 年度収支決算書承認の件

平成 26 年度事業活動報告及び決算書に関する監査報告

第 3 号議案 平成 27 年度事業活動計画承認の件

第 4 号議案 平成 27 年度収支予算書承認の件

第 5 号議案 役員選任の件

6 議事の経過の概要及び議決の結果

- ・定時総会開会

片岡誠氏を司会進行役として、総会が開会した。

- ・開会のあいさつ

三輪代表があいさつを行った。

環境部長 羽間氏があいさつを行った。

- ・出席者の確認

司会進行より出席状況（正会員総数 79 名：本人出席 25 名、書面投票 25 名、委任状出席 4 名）が報告され、総会成立宣言が行われた。

- ・議事

司会一任により、南智之氏を議長に選任し、議事に入った。

議長より議事録署名人を前田正博氏及び、馬場慶次郎氏を指名した。

議長の進行により、下記のとおり、議案審議を行った。

(1) 第 1 号議案「平成 26 年度事業活動報告承認の件」・第 2 号議案「平成 26 年度収支決算書承認の件」については、一括審議といたします。第 1 号議案につきましては三輪代表から、第 2 号議案については水川副代表から提案を行った。

寺西監事から、平成 26 年度（2014 年度）事業活動報告及び決算書に関する監査報告を行った。

第 1 号議案及び第 2 号議案について、議長が決議を求めたところ、以下の質疑が行われた。

質疑応答

【Aさん】すぐには出来ないかもしれませんが、何か新しい事業は検討されているのでしょうか。部会毎の事業がありましたらその辺も教えてください。

【代表】冒頭にも申し上げましたが、フラッグシッププロジェクトを実施している点と、もう一つはプロジェクト制度を整えたところが新しいところでございます。それによって、各部会の提案だけでなく、部会を超えた提案が自由に出来るような仕組みを作りました。と言うことで、後でも報告申し上げますけども、CO2 学校版プロジェクトであるとか、それから昨年は二回ほど大阪ガスさんの協力を得まして、会員向けの学習の機会を急遽設けたり、そう言う臨機応変な活動が出来るようになったところが、一つ大きな前進ではないかと代表としては認識しております。

【Aさん】やっぱりいろいろされている訳ですね。それであれば議案書に書いてほしいですね。前向きということで非常に大事だと思います。来年は、その辺も踏まえてきっちりと書いてほしいと思います。今回はいいですが。

【代表】文面の整理の仕方が従来通りでありまして、分かりにくい形になっていました。すいませんでした。また、最後に指摘されておりました新しい取り組みについては、事業計画の中で説明させていただきます。

第1号議案及び第2号議案について、議長が議決を求めたところ、全員異議無く、原案どおり承認可決した。

(2) 第3号議案「平成27年度事業活動承認の件」及び第4議案「平成27年度収支予算書承認の件」については一括審議とします。第3号議案については三輪代表から、第4号議案については水川副代表から提案を行った。

議長がこれを議場に諮ったところ以下の質問が行われた。

質疑応答

【Bさん】収支予算書の中の予備費は来年度に繰り越すことになるのですか。17万円ほど余っています。

【副代表】予備費17万3,425円ですね。それは、来年度に繰り越す予定になります。

【Bさん】少し多いと感ずるのですが。

【代表】代表の方から答えさせていただきます。予備費17万3,425円ですが、これは予備でございますので、恐らく繰り越す金額も含まれるとは思いますが、やはり、これから新しい事業を途中で展開していくこともあるでしょうから、これぐらいは置いておく必要があると考えておりますので、ご了解いただければと思います。

【Cさん】3号議案についてですが、今年度もかなりたくさん事業を展開されるわけですが、実は今日ホームページを見ていました。30万円かけてリニューアルされたと言うことですが、そのホームページの中で、このイベントをどう言う形でもっと一般市民の方に分かる様にされるのでしょうか。今日見ていると、各部会の説明は載っていましたが、肝心の事業の方が分かりにくいホームページになっていると思いました。やっぱり、これだけの事業をやっているのですから、メンバー以外の市民に対して訴えるものが薄いと思います。せつかく、お金をかけてホームページをリニューアルしたのですから、もう一工夫して、我々メンバーだけでなく、一般市民の方に呼びかけることが大切かなと今日ホームページを見て感じました。

【代表】大変貴重なご意見ありがとうございます。まさにその通りで、新しくリニューアルした理由も臨機応変に内容を掲載していくということだったのですが、何分、実際中心に活動している我々が、まだ新しいリニューアルしたホームページのソフトウエアに慣れていないということもございまして、ま

さに今おっしゃって頂きましたように、活動内容がタイムリーに広く現れてくるようにホームページを活用していくことは大切だと思います。まだ、技術的に不慣れと言うことはございますが、そこを目指して取り組んでいきたいと思っています。

【議長】その他、如何でしょうか。

【Dさん】総会には久しぶりの参加になるのですが、部会で、環境教育部会がございましたね、それと交通部会のご説明がございました。メンバーが不足しているので維持できないと言うご説明なのですが、それは事情としては良く理解出るのでありますが、交通問題も大切な課題ですし、交通部会の役割は消えたわけではないと思いますし、幹事会として何か対策を打つ考えはあるのかどうかお聞きしたいと思っています。収支予算の中にわざわざ交通部会の枠を消さなかったのはそういう意味があると思うのですが、いかがでしょうか。それと、環境教育部会についても合わせて教えていただきたいのですが。

【代表】環境教育部会についての説明と交通部会についての説明では若干内容が異なります。環境教育部会がなくなった理由は、アジェンダ 21 すいたが、吹田市が多数の有識者あるいは市民の方で作っておられます環境基本計画に沿って実働し、活動が現れるように我々アジェンダの使命をそこに置いたわけですね。そのために、現行の環境基本計画の中に、環境教育と言う項目がございますが、これは全部、他の項目に及ぶと言うことで、環境基本計画の行動に合わせた結果、名前を外させていただいています。ただ、先ほども申しましたように、小学校での環境教育に、これから少しずつ取り組んで参りたいと考えていることからしましても、環境教育部会の在り方は、これからもう一度重点的に考えていく必要があると考えております。それから、交通部会についても、非常に重要な組織でございまして、この交通部会の部会員さんも、この10年間非常に精力的に調査活動をされたり、また、地域で子どもを巻き込んでの交通教育をされたり、あるいはコミュニティバスの検討、それから新しいタイプの交通システムの検討と精力的に活動されてこられました。何分、メンバーの方が、しばらくご都合がつかないと言うことですので、意義がなくなったということではありませんので、また、しっかりと幹事会でも話し合いながら、復活に向けて検討を重ねていきたいと思っています。他の幹事さんよろしいでしょうか。

【幹事】元環境教育部会のメンバーとして少し説明します。今、代表が説明した流れと同じになるのですが、環境教育部会は、元々環境のことを子ども達だけでなく大人も含めて知ってもらいたい、関心を持ってもらっているような活動をしてもらいたいと言う趣旨の部会でした。それは、エネルギー部会とか自然部会とか資源部会も含めて同じスタンスもありながら環境教育に特化していたのですが、その部分だけ特化するのではなくて、各部会でも、環境教育の部分も含めながら活動して頂きたいと言うことで、発展的解消をしたと言う感じになるのですが、独立した部会ではないけども各部会にも教育の部分も担っていただきたいということになりました。元環境教育部会のメンバーとしてご報告させていただきます。

【Aさん】今の質問については、昨年の総会の時に質問したかったのですが忘れていました。幹事会の資料を細かく見れば分かると思ひまして、幹事会の議事録の3年間程見ておりました。中には、掲載されていないものもありましたが、見つけられなかっただけかもしれません。環境教育部会についても、今まで廃止の理由が分かりませんでした。今、説明でやっと分かりました。アジェンダの課題を見ていると、環境教育部会は残しても良かったのではと感じます。ですから、今の話もそうですが、レポートにして残して欲しかったと思います。昨年の総会でも申し上げましたのは、いままでの部会がどうやって変わっていかうかが分からないということなんです。先ほども言いかけて辞めたのですが、今年の方針を見せて頂いても、新しい組織になっていくわけですね。今までと比べて、それぞれの部会はど

う変わっていきこうとしているのかが見えないんです。全体をお聞きしていても、全体事業の2番の（仮称）地球温暖化問題プロジェクト、これぐらいしか新しい事業はないように思うのですが、他にもあるのでしょうか。教えていただけないでしょうか。

【代表】議事録を丁寧に見れば分かると言うことは大変失礼なことですので、また、適宜、どう言った変更があったのかが分かるようにしていきたいとは思いますが、それは、議案書と言う形か、または、何らかの形で示していった方が良くと言うふうに代表としては考えます。それから、各部会でどのように新しいことに取り組んでいるのか、全体事業の中でどのように新しさが出来ているのかと言うことにつきまして、これにつきましては、徐々に変わっていると言う点もありますので、今突然、新しいことが4つも5つも出てくると言うわけにはなかなか参りませんので、その辺はご容赦いただきたいのですが、例えば、「歩きたくなるまちづくり」についても、3年掛かってようやく軌道に乗ってきたと言うこともございますし、「CO2ダイエット学校版プロジェクト」につきましても、これも軌道に乗ってくるまで3年か4年程度掛かると考えております。また、地球温暖化問題プロジェクトについても、来年華々しく吹田市の地域環境が良くなるとは考えていませんが、次第に拡大を図って参りたいと考えております。動きが素早く外に見えない形にはなっていますけども、これからもしっかりと、いただいたご指摘を大事にしながら取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いします。

【Aさん】今の代表の話を聞いていますと、いつまでに何をやるのかが分からないんです。やっぱりこういうものは、いつまでにどの程度のことをやるのかと言う観点でもう一度見直して欲しいのです。それと、前のアジェンダ計画では非常に難しいこともあったんですが、10年経ったらここまでしか出来なかったけども、ここは大事だからこれはしていこうとか、部会としても、これはしておこうと、取り組んでいけばいいと思います。プロジェクトも新たに立ち上げて、計画通り進んでいないのであれば、前と同じことになりますし、それでは、アジェンダは何をしているのかさっぱり分からない。だから、会員も全然増えないと言う悪循環になっているのではということをお私が一番心配しているのです。

【代表】例えば、年次計画を立てて、5年度でどこまで行くのかと言う企業的なあり方も検討したいところですが、なかなかそこまでいかないのが微力なところですが、少なくとも、後2年、3年見ていただければ幸いです。もちろん、ご指摘いただいたことについては、重々理解いたしましたので、しっかりと取り組んで参りたいと思います。

【Cさん】平成27年度の予算ですが、ニュースレターに8万円の予算を計上されていますが、平成26年度は実績から言うと20万6千円と言うことで随分と減っていますが、何か理由があるのでしょうか。それともう一つ、全体事業のその他のところで5万円計上されていますが、平成26年度は何もなかったのですが、何か理由があるのでしょうか。もし何もないのであれば予備費のところに掲載すべきだと思います。それと、細かいことですが、定時総会の費用が、去年も5万円で実際に1万9千円しか使っていないのであれば、当然今年度の予算も5万円ではなくて2万円に落とすとか、そういう形で前年度の実績と比べて計上すべきだと思います。

【事務局】まず、ニュースレターですが、これも過去の定時総会等でも指摘がありまして、印刷代を見直した方がいいのではないかとすることで、今までは外注で同じところをお願いをしていましたが、昨今、安い印刷も出来るということで、ご意見も頂きまして、その印刷代を見直せばこれぐらいの予算でいけるのではないかとすることで減らしています。それから、定時総会運営事業のことですが、確かに昨年ほとんど執行していませんし、今年度も、大和大学さんのご厚意で会場を使用させていただいていますので、実際は5万円も掛かっていませんが、毎年そういう形で会場が確保できるのかということ



と、この後、講演会を予定していますが、今回も大阪ガスさんのご厚意で講演の方もして頂けるということで、安く済んでいるということもございますので、今後そのようなことが続くかと言うことが不安だと言うことで5万円を計上させていただいています。その他についてですが、第3号議案の全体事業のところ(9)で上げているのですが、いろんな事業をするようになってきましたので、郵送料とかを表に出るような形で出して適正に管理をしていこうと言うことで、今回、全体事業の中でその他の項目であげさせていただきました。

第3号議案及び第4号議案について、議長が議決を求めたところ、全員異議無く、原案どおり承認可決した。

(3) 第5号議案「役員選任の件」について、水川副代表が説明を行った。

議長が議場に諮ったところ以下の質疑が行われた。

【Aさん】幹事が10名選ばれていますが、幹事会の中で選出の方法を決めていると思います。どう言う基準で決めたのか、皆さんに明らかにしてもらえますか。

【事務局】恐らく、Aさんの質問は、幹事はどのように決められているのかと言うことだと思いますが、それでいいですか。

【Aさん】推薦されたのは、この方々達だったということですね。推薦方法はどうなんですか。これは幹事会で決まっているのですか。

【事務局】いえ。総会で承認を受けて決まることになります。ただ、役員候補者名簿については、幹事会で決められています。

【Aさん】そうではなくて、幹事はどう言う人たちから選ぶかと言うことが、昔の幹事会で決まっているのですよ。

【事務局】会則の中には特に書かれてはいません。

【Aさん】会則の中には書いていませんけども、幹事会の中で決めるということになっているのですよ。

【代表】これはですね、設立以来決める基準といたしまして、幹事会の中で出してくるわけですが、選考方法は、各部会から代表が1名、吹田市を基盤に精力的に活動されています本会の会員でもいらっしゃる環境団体、または事業者、大学、学識経験者、吹田市の環境部からということ構成されています。これは、先ほど事務局の方から申し上げましたが、特に明文化されたものはありませんが、発足当初よりこの方法で進めております。やはり幹事の方たちは、部会の中でも精力的に活動し、また吹田市の中でも積極的に頑張っている方々で、社会の実態を良く知っておられる方々であろうとは思われますので、そうした方々に、お願いをしている次第でございます。以上でよろしいでしょうか。

【Aさん】今の説明でしたら、以前、私が幹事会の幹事をしていた時に決議されたことは一体何だったのですか。代表もおられました。それまでの決め方としては、慣例的になっていましたが、各部会から2名選出していました。それをわざわざ、この時に各部会から1名に変えられたのですか。なぜ、こんなことを申し上げるかと言いますと、当時交通部会は、他の部会とは違って、他の団体に属さない市民が2名いました。だから、交通部会からが異様に増えたんだと思います。それで、交通部会からは1名になってしまっていて、その後は交通部会からはずっと1名になりました。そういうところは私は経験しているのですよ。今の代表の説明でしたら、あの時私が交通部会の幹事をさせていただいていたことがさっぱり分からないんです。

【事務局】幹事会の方は議決権を持っていません。推薦をしている経過はありますが、総会の中で議決していただくと言う会則になっていますので、その選び方について、幹事会で持っている訳ではござい

ませんので、この場で決めていただくと言うことでお願いしたいと思います。

【Aさん】本来はそうだと思いますが、現実には私が先ほど申し上げた形で決められてきたわけです。代表の説明はありましたが。

【事務局】ですから、今申し上げましたように幹事会で決められたことではないです。

【Aさん】いえ、幹事会で決めて来たんですよ。私は、以前は交通部会の幹事だったんです。それが、幹事ではなくなりました。本来であれば、総会で決められるものを幹事会で推薦と言う形になったために、幹事を外れたと言う経験があるんですよ。それと、先ほどの説明では、各部会から1名と言うことであれば、部会は3つしかありませんから、3名になるんです。ところが、市民が4名もおられるんですね。その辺がおかしいと言うのが私たちの感覚です。要するに、今までの決め方が間違っていたということでしょうか。

【事務局】事務局を預かっている責任者です。あくまでも先ほど事務局が申しあげましたように、幹事会には議決権も決定権もございません。その中で、幹事さんは毎年総会を経て幹事が承認されています。単年度限りの幹事さんになります。その中の単年度の中で、申し合わせをされている事項については、単年度と言う形での運用になります。ですから、引き継ぎがされているかどうかについては、その次の幹事さんがそれを引き受けて、承認されるのであればその経過を引き継がれます。今、代表からおっしゃられたように、今年の推薦については、例年の基準と言うものは守っていますけれども、この幹事会の中でその基準を基に運用していますとおっしゃられたと思います。ですから、以前に交通部会があって、部会がどうのこうのと言う話は、その単年度の幹事会での申し合わせ事項と言うことで運用されていると言うことで理解していますのでよろしくお願いいたします。

【Aさん】そう言うことではれば、市民が4名選ばれているのは、各部会の代表ではないのですか。

【事務局】先ほど、三輪代表が説明されたとおり、各部会であるとか環境団体であるとか行政も含めてですが、その中からふさわしい方をご推薦させていただいています。

【Aさん】そしたらはっきり申し上げます。どなたがどう言う基準で選ばれたのですか。

【事務局】それは、要するにどの方がどの部会から推薦されて、どの方がどの団体から来られたかということをお聞きになりたいということですか。全体でしょうか。それとも、市民から選出されている方について聞きたいということですか。

【Aさん】先ほど、代表の方から選考基準について話がありましたよね。

【事務局】今活動されている各部会であるとか、各プロジェクトであるとか、今現在、頑張っている方から、主に幹事会の方で推薦をさせていただいています。会則の中には、先ほども申しましたけど、各部会や各団体から必ずと言うわけではありませんので、その辺りは、毎年、Aさんの時は存じ上げていないのですが、今回に関してはそう言う形で会則に乗っ取って推薦をさせていただいたと言うことでご理解をお願いしたいと思います。

【Aさん】私が敢えて申し上げたのは、不明瞭なところがあるので意見しました。選ばれた方については、特に申し上げませんが、やはりこう言うものについては明瞭化して欲しいということです。以上です。

第5号議案について、議長が議決を求めたところ、全員異議無く、原案どおり承認可決した。

選任された役員が会場前方の出入り口の外にお集まり三役員を決定した。

代表より、役員を紹介があった。

【代表】引き続き三輪の方でさせていただきます。副代表に水川氏。会計には大阪学院大学の増田氏。  
以上、すべての審議が終了し、議長を解任した。

7 「(仮称) すいたエコウォーク」の企画説明  
大阪学院大学の学生さんが企画説明を行った。  
以上、第1部定時総会(議案審議)が閉会した。